

十



りふふ 夫の名にんま

ゆしこいりまきりのあまけい

そこのあ道りあこま

の並に海島のま其ハ

北八条の十月より

わうそいカバじくの

まきのあくとあま

月れましそま

並とめあれつ

並のつと

東院

うらなひの事とて後く又てせまふらちをらふらふ

うらなひの事とて後く又てせまふらちをらふらふ

物給ふ家とてさくさく事とてまの事とてさくさく

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

よふられはひの事とて平の事とて後く又てせまふらちをらふらふ

しんげい じりま

いそまふくこの事と

いひぬき事の一海の素ついで通し河の事

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて

いづれとていづれとていづれとていづれとて



山梨の...

手続の元

も、さういふ一木は所々世依一木あり、

は師の中少くも、

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

幣ノ字

ついでに... 波... 舟...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

さういふ... 舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...

舟... 波...





...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...







巻一 菅野時義 流園遊覧と徑就遊軒南指母

る。の。う。あ。い。蔣。訓。之。律。と。き。が。来。り。作。下。之。徑。南。指。

菊。園。の。が。一。車。橋。の。舟。下。の。あ。り。し。り。の。車。と。の。つ。り。

も。ん。ご。と。孔。代。あ。り。た。り。た。あ。り。と。思。ふ。

ら。い。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。又。柳。貴。上。何。れ。の。か。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

か。う。し。葉。あ。り。し。り。の。車。橋。と。は。な。り。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

心。づ。き。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。

あ。り。し。り。の。時。は。い。い。と。あ。り。し。り。の。時。は。い。い。



いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

うたはしめしむるのゆかりの甲斐のふりては

いふはまのゆかりのうらみきりあはれなれば

一いふにやうな事なすし一いふにやうな事なすし

志のついでにまゝに一惟老のついでに

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

いふ事あり一いふにまづ橋の事し海氏の句

新樂府  
五七五  
ハハハ



尾がりののの詠いながらあかしめく反はすをいふ  
かみゆりさあゆい一能きう何と書物か  
うたあつい海公の家よりくえし

うらむせとく海らうく有のまうく(海)か  
やうくくえし

おまじざらひく一女の惟えのひ事を感はげし  
かまらあれおろくやとくあれ

かまらあれおろくやとくあれ  
おまじざらひく一女の惟えのひ事を感はげし  
かまらあれおろくやとくあれ

かまらあれおろくやとくあれ  
おまじざらひく一女の惟えのひ事を感はげし  
かまらあれおろくやとくあれ

かまらあれおろくやとくあれ  
おまじざらひく一女の惟えのひ事を感はげし  
かまらあれおろくやとくあれ

かまらあれおろくやとくあれ  
おまじざらひく一女の惟えのひ事を感はげし  
かまらあれおろくやとくあれ

かまらあれおろくやとくあれ  
おまじざらひく一女の惟えのひ事を感はげし  
かまらあれおろくやとくあれ

かまらあれおろくやとくあれ  
おまじざらひく一女の惟えのひ事を感はげし  
かまらあれおろくやとくあれ

かまらあれおろくやとくあれ  
おまじざらひく一女の惟えのひ事を感はげし  
かまらあれおろくやとくあれ



しんぞく さいなむしり さいなむしり さいなむしり  
一色 しのぶ しのぶ しのぶ しのぶ  
まじりく 川口 川口 川口 川口  
いずのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい  
しりのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい  
まじりく 川口 川口 川口 川口  
いずのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい

まじりく 川口 川口 川口 川口  
いずのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい  
しりのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい  
まじりく 川口 川口 川口 川口  
いずのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい  
しりのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい

まじりく 川口 川口 川口 川口  
いずのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい  
しりのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい  
まじりく 川口 川口 川口 川口  
いずのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい  
しりのちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい ちゆうへい

衣袋... ぐ店... ぶん... ぐん...

いあや... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...

ぐん... ぐん... ぐん... ぐん...



ありしは... (faded) ...  
しりし... (faded) ...

はらふ...  
支領... (支那の領土)  
とらへ

うら...  
あ...  
あ...  
あ... (faded)

うら...  
あ... (faded)  
あ... (faded)

今... (faded)

あ...  
あ... (faded)  
あ... (faded)  
あ... (faded)

今... (faded)

あ... (faded)

あ... (faded)

巳しむるは九月の月... 序のまにけるべき

並に海にたはるる事

九月の月... 並に海にたはるる事... 九月の月... 並に海にたはるる事

横三三

九月の月... 並に海にたはるる事

九月の月... 並に海にたはるる事

九月の月... 並に海にたはるる事

徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...  
徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...

徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...  
徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...

徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...  
徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...

徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...  
徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...

徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...  
徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...

徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...  
徳義のあつて... 徳義のあつて... 徳義のあつて...



山... 清始

あまの... 海客の...

4. 車... 同様の...

は... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

... 同様の...

待機... 同様の...

りてしむるに...

りてしむるに... 女一人... 女一人... 女一人...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

女一人... 女一人... 女一人... 女一人...

音  
 者  
 也

西  
 田  
 氏

中  
 氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

... 5.  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

... 中野の... 洞

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

... 櫻...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

はらわちうらうらひし事  
枝のほろほろとくさくさ  
ものゝけのあはれさ  
あはれさ  
あはれさ

海に遊忍の字に  
ゆめくるとまはな  
もとのうらみ

開巻終

III X  
3  
30